

子どもたちをコロナから守る 保育士のために布マスクを寄贈

4月15日、木綿製品を製造・販売しているローリング（大刀洗町）から久留米市に2000枚の布マスクが寄贈されました。新型コロナウイルス感染症対策として天然素材を使って製作されたもの。マスク不足が深刻になる中、保育所や幼稚園、認定こども園の保育士用にとの思いからです。

マスクを寄贈する實藤代表（中央）と代表して受け取るこども園の保育士の中嶋文恵園長（左）、大久保勉市長



触らずに連絡を セアカゴケグモを発見

毒を持つメスは体長約1cm、全体的に黒く、背中とおなかの赤い模様が特徴



3月23日と4月6日に、計

11匹のセアカゴケグモが久留米市内で発見されました。発見者から連絡を受け、すぐに市環境部が駆除。セアカゴケグモは、特定外来生物に指定されていて、メスは毒を持っています。室外機の裏やブラントーの縁などに生息。基本的に、おとなしく攻撃性はありませんが、かまれたときは、針で刺されたような痛みを感じ、その後、腫れたり、発疹が出たりします。発見した場合、直接手で触らずに市役所へ連絡してください。

◎環境保全課（☎0942・30・9043、FAX0942・30・9715）

市政の動き

市役所もコロナを広げない取り組み

市役所は職員をはじめ、来庁者への感染症を防止し、業務を維持するための取り組みを行っています。職員の業務体制の見直しを実施。時差出勤や在宅勤務を始めました。

各フロアの入口や各階エレベーター付近にアルコール消毒液を設置し、来庁者に利用してもらっています。窓口に飛沫感染を防ぐため透明のカーテンを設置したり、職員で1日2回以上の消毒作業を実施したりしています。特に、多くの人が触れる場所は、小まめに消毒を行っています。併せて全庁で2時間



テーブルやイスなど、午前と午後、それぞれ1回以上、消毒を行っています

おきに窓を開放し、換気を実施するなど、ウイルス対策を徹底しています。

◎新型コロナウイルス対策本部（総務課内、☎0942・30・9052、FAX0942・30・9706）

次ページから「新型コロナウイルスウイルスうつらないことができること」の冊子が折り込んでいます。抜き取って活用してください